

渋川市小中学校PTA連絡協議会広報



新生市P連～親・子・先生、一つになっ
て各地区に「心の橋」をかけよう。

かけはし

第8号

平成27年2月発行

◇発行◇

渋川市小中学校PTA連絡協議会

ホームページアドレス

<http://shibukawa-pta.jimdo.com/>



変わらぬ思い



渋川市小中学校PTA連絡協議会
会長 松村 浩

はじめに、この場で改めて第60回群馬県PTA大会
渋川大会への皆さんのご協力に対して感謝を申し上げ
ます。事前の会議や準備、また当日は土曜日にも関わ
らず朝早くから夜遅くまでお疲れ様でした。皆さんの
協力無しには大会を成功裏に終わらせることはできな
かったことでしょうか。本当にありがとうございます。
60回という過去をひもといてみれば、戦後の混乱期を
乗り越え、高度経済成長、情報化社会を経て、私たち
はひたすら前へ前へと進んできました。そして、夢見た
21世紀を迎えて、すでに10数年が過ぎようとしてい
ます。言葉で振り返ってしまえば、わずかなものでは
が、これほど大きな変化があった60年は、2度と訪れ
ないのではないのでしょうか。こうした激動のただ中にあっ
ても、親が子を思う気持ち、つまりPTA活動の原動力
となる思いは、これまでも、これからも決して変わるこ
となくあり続けることでしょうか。そんなことが再確認
できた大会であった、と考えています。

インターネットで「PTA」と入力すると、予測候補で
「廃止」や「いらぬ」といった言葉が上がってきます。ま
た「PTA役員」の後には「やりたくない」「強制」といった
悲痛な候補が出てきます。全国の多くの方の実感でし
ょうし、初めて役員を務めた方も最初は、同じように
捉えていたのではないのでしょうか。一年を終えてみてい
かがでしたでしょうか。「PTA」の後にはどんな言葉が
出てきますか。実際に取り組むことで、当初の予測と
は違った言葉が、上がっているものと思います。

子どもたちは日々、成長しています。社会も刻々と
めまぐるしく変化していきます。私たち大人も学習し
続ける必要があります。学習というと、学校だけのこ
と、と思われる方もいるかもしれませんが、PTA活動
も学びの場です。講演会だけでなくイベントの企画・運
営といった実践、そしてなによりも様々の人と関わるこ
とで、多くのことを学べます。PTA活動は、面倒くさ
いことや大変なことも多いかもしれませんが、子ども
たちのためにと頑張ることで自分自身も成長させるこ
とができる、そんなステキな場なのです。これからも子
どもたちのために、ともに頑張りましょう。

定期総会



平成26年5月17
日(土)にアネーリ
渋川において平成26
年度定期総会を開催
しました。当日は、
副市長、市議会議長、
教育長をはじめとす
る多数のご来賓のご
臨席をいただきました。
た。

議事では平成25年度の事業報告、収支決算報
告及び監査報告がなされ、全会一致で承認されま
した。引き続き、平成26年度の役員(案)、事業
計画(案)、予算(案)が審議され、全会一致で
決議され、2期目となる松村会長のもと、新年度
の活動をスタートさせました。

教育懇談会



▲ 後藤教育長との意見交換

平成26年7月17日
(木)午後7時から、
渋川市役所第二庁舎
203会議室におい
て、後藤教育長他主管
課長をお迎えし、各単
位PTAの代表者との
教育懇談会が開催
されました。

今回は、各学校に事
前にテーマを決めたアンケートを実施し、各校PTA
活動の現状を取りまとめたいと、小学校・中
学校の区分に分かれて班別で懇談が行われ、各
班において意見集約を行い、全体で内容検討を行
うこととなりました。

出席者からの主だった意見として、各校により
PTA会費に差があることやその集め方の違い、
役員の選出方法の課題、特色ある事業等多岐にわ
たる意見交換が行われ、これらを踏まえて教育長
から所見を述べていただきました。

「ピンチのときこそあなたのチカラ」

PTAの3文字であいうえお作文ができないかな
と、ひねり出したタイトルです。1年前の大雪の際
には、皆さん自宅の雪かきだけでなく、近所の手
伝い、通学路の除雪にも協力した方も多いでし
ょう。「新しい公共」という言葉をご存じですか。
公共を担うのは、役所だけでなく、市民一人一人
の活躍だという考えです。

雪かきに例をとれば、自宅の雪かきが「自助」、
除雪車による出動が「公助」、そして近所の手伝
いや通学路の除雪協力が「共助」と呼ばれます。
自分でできることは自分で、何人かで協力して
できることも自分たちで、それでもダメなら役所
にも協力を、といった具合です。中でも「共助」
を担うのがPTAだと思います。奉仕作業という
ことで、夏休みに自治会と草刈り等をする学校
も多くあります。一人では大変だけれど、みな
で協力すれば、達成できる、という共助の一
例と言えます。

阪神淡路大震災から20年、東日本大震災から
4年となります。いつまた想定外の災害が起
きかたもしれません。そんなピンチの時こそ
あなたのチカラ = 共助が必要です。頼りに
して下さる。

このように各校
の実態を知り、意
見を交わす機会は
少なく、同じ市内
でもPTA活動の
運営方法や取り組
み方など様々であ
りました。他校の
良い実例を生か
し、お互いに取り
入れていくことで
より良い活動を行
えるようになる
ことを望みます。



▲ 班別での話し合いの様子



しづかわ市民まなびの日

11月22日(土)にしづかわ市民まなびの日が
開催されました。市P連は、実行委員会の一員
として企画に関わりました。

会場である渋川市民会館の小ホールでは、各
団体の活動展示や啓発品の配布、幼稚園の子
どもの作品が展示されていました。わりばし
鉄砲作りコーナーでは、子どもたちが試行錯誤
しながら作っている姿が印象的でした。



ロビーではジュニア
オーケストラのコン
サートや渋川
工業高校の展
示・体験コーナー
が催され、子ど
もの一生懸命な
姿に感動しまし
た。
少年の主張・
家族の日作文の

最優秀賞受賞者の発表では、小学校1年生から
中学校3年生まで10名が出演しました。子ど
もたちの成長の様子や日頃の思いを垣間見るこ
とができました。

その後の講演は「アニメーションに描かれた家族
のかたち」と題し、森田浩光氏から「講演をいた
だきました。とある長寿アニメの製作の舞台裏
や、家族の絆をどう表現するか、といったこと
をお話いただきました。

この行事は、知名度が低いのか、参加者が少な
かったのが残念でした。会場に足を運ぶことで、
多くのことを学べるのではないかと思います。次回
の開催時には、皆さんも参加してみたいかがで
しょうか。



第60回群馬県PTA大会



11月29日(土)第60回群馬県PTA大会が渋川大会が開催されました。県内4地区での持ち回り開催で、渋川市で開催されるのは8年ぶりです。県内の小中学校PTAが一堂に集まる大会です。市P連ではこの日のために、およそ1年前から、会議や準備を重ねてきました。市内各校からは、今年度の会長・女性代表だけでなく、昨年度の会長や役員まで100名を超える係員体制で運営に臨みました。

当日は、午前中に家庭教育研究会を市役所第二庁舎にて実施し、午後から県P大会を開催しました。会場である市民会館の駐車場だけでは対応しきれないため、市役所をはじめ各地の駐車場を借りて、県内各地からの参加者を受け入れました。あいにくの雨のため、駐車場係は大変な思いをしたことと思います。お疲れ様でした。ロビーでは母親委員が受付を担当し、ゆるキャラたちと参加者を歓迎しました。大会の運営にあたり、係員の目印として、スタッフジャンパーを着用しました。おそろいの服装で、より一体感を高め、係員全員が自分のできごとを懸命に行いました。本紙で使用している写真を撮影したのも、市P連の係員です。運動会・発表会など、様々な条件下で子どもたちを撮影している父親達ですので、このような場でもひるむことなくシャッターを切り、いい仕事をしてくれました。



▲ 受付の様子



▲ 雨の中、車両誘導



大会の前にアトラクションとして、渋川中学校製作映画「踏み出せ一歩」を上映しました。平成25年度の生徒会役員が中心となり、いじめという大きなテーマを題材に製作した映画です。映画上映後に、今では高校生となった出演者の皆さんに登場していただき、インタビューをしました。演技とはいじめ、いじめられるという経験はとても辛いものだった、と出演者は話していました。一方で、撮影時のエピソードやタイトルにちなんで一歩踏み出したこと、などなかなか質問からは出演者同士の仲の良さが伝わってきました。いじめ問題に生徒自身が積極的に取り組み、伝えるために映画を上映するという行動に胸を打たれました。

式典後の講演では、「人生の教科書」と題して、古賀稔彦氏からお話しいただきました。壇上に現れるやいなや、「演台が、端に寄っていいんだか寂しいですね」と運営側としては、「ヒヤリとしました」「まあ、動き回って話すのでどこでも良いんですけどね」と笑いに変えてしまいました。自身の柔道人生から学んだ教訓が話の中心でしたが、ときどきこうしたユーモアを交えながら聞く人を飽きさせない講演でした。途中、まさかの登壇で、講師のアシスタントも務めさせてください。貴重な経験ができました。古賀稔彦氏といえ、谷本選手の指導者としても有名で、アテネ大会で金メダルを取るといふ目標を定めたら、いっどこで実現するかはつきりさせて練習計画を立てた、と話していました。また、常に計画の達成度を本人に認識させながら、目標への夢の実現に向かわせたという教え方は、柔道だけでなく多くの事柄でも通用することはないかと思えます。



▲ 古賀稔彦氏の講演の様子

閉会式典では、次回開催地の安中市へ大会旗を引き継ぎ、無事に大会を終えることができました。参加者が500名を超える大会でしたので、運営では困難な面もありましたが、力を合わせて取り組むことで、成功させることができました。お疲れ様でした。



第62回日本PTA全国研究大会 長崎大会 報告 8月22・23日 市P連副会長 設楽 雅之(渋川中)

三重大会に引き続きの参加で、県P渋川大会が控えており、運営面を参考にしたい思いがあり、興味津々で大会に参加させていただきました。分科会では、ジャパネットたかたの高田社長の基調講演を聴きました。広報活動に関するお話で、「素晴らしいものがあっても伝えなければ、ないのと一緒」「わかりやすく、情熱をもって伝える」「指がしゃべる、目がしゃべる、顔がしゃべる、五感をフル活用する」など、これまでの自分が実践してきたこと、信条としてきたことを伝えていただきました。

また、高田社長は今の自分を更新することが大事で、大きな目標をもって取り組むことも大事だが、今の自分を乗り越え成長していくことが、大きなことを成しえる一歩だと訴えていました。1990年にラジオオショッピングを始めて20年後の2010年には1759億の売り上げを達成したが、お客様のことを考え、商品の良さをいかに伝えるかを考えた結果であり、大きな目標をはじめから持っていたわけではなく、自己更新を続けてきた結果、得られた成果だとおっしゃっていました。

高田社長の講演の後、高田社長、佐賀県武雄市山田課長、長崎市仁田小学校桑原PTA会長の3人がパネリストとなり、事例や広報、人に伝えることに対する考え方などの発表があり、パネリストの方のお話は大変ためになりました。その他も見どころが多く、食べ物もおいしい長崎を堪能でき、最高の日P大会でした。出島が教科書で見ていたイメージ通りならさらに良かったです。

スポーツ交流会



ソフトバレーボール大会

10月19日(日)に、秋の恒例行事のソフトバレーボール大会が総合公園にて行われました。この日のために積み重ねてきた練習の成果を発揮する、あるいは前回のリベンジを果たすため今年度は、25チームが参加しました。体育館で一生懸命にボールを追う姿や仲間を応援する姿が見られ、どのコートでも熱戦が繰り広げられました。惜しくも予選で敗退してしまったチームは、交流戦で親睦を深めることができました。決勝トーナメントへと進んだ単Pは、日頃の練習の成果を十分に発揮されたものと思われれます。見事、優勝に輝いた渋川南小PTAの皆さん、2連覇おめでとうございます。各単Pとも大健闘でした。素晴らしいチーム力を発揮しPTAの皆さんの輪が広がりました。



▲ 繰り広げられる熱戦!



▲ 円陣を組んで、気合いを

ソフトバレーボール大会競技成績

- 優勝 渋川南小
- 準優勝 渋川北小
- 決勝トーナメント進出 渋川西小、中郷小、渋川中、古巻中
- 交流戦リーグ1位 渋川北中、金島小、小野上小、伊香保小

編集後記

市P連の広報誌も今号で、8回目の発行となりました。6市町村が合併してできた新たな渋川市も8年を過ぎました。合併以前は接点の少なかった町村の方も市P連を通じて関わる機会が増えましたし、今回の県P大会で目的を同じくして活動することで、より連帯が強まったと思います。さて、広報委員会では、本紙の発行の他に、ホームページの運営をしています。「かけはし」同様にご愛顧をお願いします。

～ 広報委員 ～

- 武井 哲也 (古巻中) 和田日登美 (伊香保小)
- 草間 順一 (渋川南小) 野村 智幸 (小野上小)
- 横田 正行 (子持中) 角田 光徳 (赤城南中)
- 角田祐一郎 (赤城北中) 堀口 幸則 (北橋中)



第46回関東ブロック研究大会 さいたま市大会 報告 10月25・26日

市P連副会長 福島 伸久(金島小)

関東ブロックPTA研究会に初めて参加しました。今回はさいたま市で開催されたこともあり、日帰り2日間の日程で、分科会や全体会などに参加しました。1日目は、地域連携に関する分科会に参加しました。埼玉大学教育学部准教授であり、元Jリーグにも在籍していた菊原伸郎さんによる「たくましくしなやかに子供たちを育てるため、いま大人が考えすべきこと」をテーマに講演があり、その後、茨城県日立市立鳴沢小学校PTAの「鳴沢小おやじの会」と静岡県静岡市立清沢小学校PTA「清沢てんぐの会」の事例発表がありました。「鳴沢小おやじの会」の発表では、宿泊体験(校庭に子どもたちがダンボールハウスをつくり宿泊。校内きもだめし・夜のプール等を実施)や地域パトロール、地域清掃などの取り組みを、「清沢てんぐの会」の発表では全校生徒27名の小規模校である清沢小学校の「全員参加のPTA活動」で、土曜や日曜、夏休みなどに年間20回以上の企画を立て、「主人公は子ども、実は親も楽しんでる!」という様々な取り組みを、映像や画像を活用してわかりやすく紹介していただきました。2日目は全体会に参加しました。開会式で来賓の挨拶や分科会報告のあと、さいたま市ともPTAともゆかりのある沢田知可子さんの記念講演会がありました。テーマは「ココロとカラダに優しい歌葉」。沢田さんのエピソードを交えながら、大ヒット曲の「会いたい」や「生きる力」をテーマにした人間力大賞の厚生労働大臣奨励賞受賞曲の「GIFT」などを披露していただくなど、「トーク&ミニコンサート」を楽しみました。